



中島根

平成30年6月29日
足立区立中島根小学校
校長 武井利依
平成30年度7月号

ぜんきゅうい し みち よろこ あら ちから た なり
再求曰わく、子の道を説ばざるに非ず。力足らざる也。

し のたま ちから た もの ちゅうどう はい いまなんじ かぎ
子曰わく、力足らざる者は、中道にして廢す。今女は画れり。

校長 武井利依

6月は創立45周年記念運動会に始まり、学校公開・土曜授業、そして日曜授業参観・道徳授業地区公開講座と続き、多くの保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただきました。さまざまな場面で、ご意見や励ましの言葉をお寄せいただき、感謝申し上げます。

今、W杯決勝トーナメント進出に日本中が沸いています。グループリーグ初戦のコロンビア戦での数的優位を生かした思い切ったプレー、セネガル戦で魅せた諦めない気持ちの詰まった組織一丸となったプレーからは、チームの変貌ぶりがうかがえました。5人の3大会出場者の一人である本田選手は「自分たちの良さを発揮することを前提に、相手が何をしてくるか。分析するところが大きく変わった。」と語りました。

先週、5年生は鋸南自然教室で初めての2泊3日の共同生活を体験しました。事前に行った学習や係活動で思い描いていたことと実際の体験したことには大きな開きがあることを感じたことでしょう。思うように行かないことに直面する度に、自ら考え仲間と乗り越える努力をしました。今まで、自分一人では判断しないですませ、周りの大人の指示を待っていた子も班や部屋で共に過ごす友と共に行動しました。自分の考えをもち、話し合いをして判断することが必要だとわかり、決めたことを守って行動することができるようになった3日間でした。

今月の論語の章句は孔子が多才と認める「再求」の発言に答えています。再求は「先生から道を学ぶことを幸せに思っているのだが、自分の力が足りずにいまだに身につけるところまで到達していない」と言いました。それに対して「本当に力が足りない者なら、やれるだけやっただけ途中で力を使い果たしてやめることになるはずだ。しかし、おまえはまだ全力を尽くしていない。今、おまえは、自分で自分の限界をあらかじめ設定して、やらない言い訳をしているのだ。」と教えました。自分の中での限界を決めてしまうと、心が動かなくなってしまいます。鋸南自然教室では「来た時よりも美しく」を合言葉に大仏前広場や砂浜の清掃を行いました。数々の体験から得た全力を尽くす喜びや楽しみを今後に生かしてくれると信じています。西野ジャパンは選手だけでなく、チーム全体で挑んでいます。自分自身でもチーム全体でも限界をつくることなく、現時点での全力を尽くしたからこそつかみとった結果だと思います。幼い頃からの自分自身の夢を叶えた選手達は、今は、私達の夢へとつなげひろげてくれました。

4月に実施した区の調査の中の「大人になった時の自分の夢をもっている」と答えた児童は87.2%で、区平均の86.0%を超え、嬉しく思います。これからも夢に向かって自分を信じて、仲間を信じて行動することを願っています。

明日の本校家庭科室での「親子料理教室」、明後日の第十中学校体育館で「ビーチボールバレー」大会でも活躍を期待しています。ご家庭でもお子さんとゆっくりお話し下さい。

7月の行事予定

7月の生活目標：言葉づかいに気をつけましょう

日	月	火	水	木	金	土
1 ビーチ ボール バレー	2 水泳指導始	3 SC 短 着衣水泳6年 ハッピータイム	4 ④	5 都学力調査 5年	6 SC 安全指導	7 土曜授業 読書旬間終 三校連携事業
8	9	10 SC 短 プラネタリウム 4年 ハッピータイム	11 ④	12 保護者会	13 SC 短 漢字検定	14 緑を育む会
15	16 海の日 海の日コンサート ギャラクシティ コーラス部	17 SC	18 ⑤ クラブ 活動	19 避難訓練 (不審者対応)	20 交通安全教室 4・6年 大掃除	21 地域パトロール& クリーン作戦始
22	23 夏季休業始 夏季ハッピータイム始 水泳指導前期始 個人面談始 あだち小学生夏休み 学習教室始	24 SC	25	26	27 夏季ハッピータイム終 水泳指導前期終 個人面談終 あだち小学生夏休み 学習教室終	28 緑を育む会
29	30	31 SC 地域パトロール& クリーン作戦終	8/1	コーラス部 府中の森芸術劇場 NHK全国学校音楽コンクール東京都コンクール予選		

※SCはスクールカウンセラー来校日です。
 ※短→短縮時程
 ④⇒4時間授業の水曜日
 ⑤⇒5時間授業の水曜日

もりもり給食ウィーク

栄養士 土屋 貴子

6月11日から15日まで、もりもり給食ウィークが行われました。もりもり給食は足立区の事業で、「児童の食に対する意識や食べる意欲の向上を図り、より良い給食運営に役立てること」を目的として、年2回行われています。中島根小での主な取り組みは、「ラッキーセブンをさがそう」と題して、給食のメニューの中に「7」の形をしたにんじんを入れています。探す楽しみがあるだけではなく、使っている食材をよく見てもらいたい、しっかり給食を食べきってもらいたいと考えて工夫しています。これからも、給食が学校生活の楽しみの一つになるように、様々な工夫をしていきます。



三校連携事業「学習会&ビューティフルコンサート」7月7日(土)14:00～六月中体育館

六月中学校・保木間小学校・中島根小学校の三校連携事業は11年目を迎えました。今年度は六月中学校体育館を会場に行われます。第1部は三校の児童・生徒や六月子供ばやしによる素敵な歌声や演奏をお聴きください。第2部の学習会では、足立区長 近藤やよい様をお招きして「協創力で貧困の連鎖に楔(くさび)」―足立区の子どもの貧困対策―をテーマに基調講演をいただきます。近藤区長様から、直接、お話をうかがえる貴重な機会であり、有意義な会にしたいと思います。みなさま、お誘い合わせの上、六月中学校にお集まりください。

体力状況調査

6月12日に体力状況調査を行いました。種目は、握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・立ち幅跳びです。あいにくの雨でしたので、ソフトボール投げは延期となりました。昨年度は肩まわりの筋肉を鍛え、肩甲骨の可動域を広くする「中島根ショルダーストレッチ」に取り組んだことで、都の平均・区の平均を大幅に超えることができました。今年度の結果も楽しみです。

体育朝会では、反復横跳びについて学びました。渡邊先生と体育委員会の6年生が①腰を落として動くこと②横に跳ぶことを教えてくれました。また反復横跳びのカウントの仕方も教わりました。

当日は、5名の足立区スポーツ推進委員の方が来て下さり、円滑に素早く計測することができました。どの学年もすべての種目に一生懸命取り組み、スタッフの方からもお褒めの言葉をいただきました。



水泳指導について

7月2日より水泳指導が始まります。今年度も安心・安全で事故がなく、また児童が楽しく泳力を向上することのできる水泳指導を進めてまいります。

新学習指導要領では、現行の3・4年生の「浮く・泳ぐ運動」と5・6年生の「水泳」が、ともに「水泳運動」へと変更されています。また、5・6年生の内容に「安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く浮くこと」と安全に関する内容が追加されています。泳力を向上することはもちろんですが、「長く浮くこと」や「自己や仲間の考えたことを他者に伝える」主体的な水泳が今年度もできるように教職員一同集中して指導していきます。

最後に、水泳指導のお知らせにも記載いたしましたが、以下の用具を一点でも忘れてしまいますと入水することができませんので、改めて、お子さんと一緒に確認していただきたいと思ひます。

- *プールカード（体温・爪の状況・平熱等記入漏れがあると入水できません）
 - *水着(男女とも紺色)
 - *水泳帽(メッシュのオレンジ色)※一年生は黄色
 - *ゴーグル
 - *バスタオル（スカートタオル・他に髪の毛の長い子は髪用のタオル）
 - *ビニール袋（ぬれた水着を入れるため）
- 全ての物に記名をしてください。

鋸南自然教室に行ってきました

第5学年主任

平山 秀人

5年生は、6月18日から20日まで鋸南自然教室へ行ってきました。子ども達にとっては、初めての友達と過ごす2泊3日への期待は何よりも大きかったようです。係の仕事ごとの事前準備にも熱心に取り組み、自信に満ちた笑顔でお家の方々に大きく手を振って、学校を出発しました。

1日目、JFEスチール千葉工場で、製鉄の様子を見学させていただきました。1200℃にも達する熱い鉄の塊が猛スピードでローラーにかけられ、薄い鉄の板へ延ばされていく過程は、その熱と轟音もあいまって大迫力でした。なかなか見ることでできない、本当に貴重な体験となりました。見学の後は、岩井海岸の散策を行いました。波の音を聞きながら、子ども達はきれいな貝殻を拾って楽しんでいました。学園に着いて入園式を終えたら、夕食後はナイトハイクです。しかし、雨が降り始めていたため室内で実施することにしました。3階のフロア中に響き渡った叫び声は雨雲も吹き飛ばしたようでした。



2日目は漁港の見学後、バスで鋸山へ向かいました。山頂の「地獄覗き」と呼ばれる展望台からの絶景を



楽しみ、千五百羅漢像を右手に見ながら石段を下り続けました。朝は少し曇っていましたが、ゴールの大仏広場に着くころには青空が広がり、みんな玉のような汗を流していました。昼食後は鱧ヶ浦海岸へ向かい、磯の生き物観察に取り組みました。潮だまりの中で見つけた小さな魚やヤドカリ、カニに、子ども達はキラキラと目を輝かせていました。観察後はみんなで海岸のごみ拾い活動を行い、気持ちよく2日目の活動を終えました。宿舎に帰って夕食をとり、夜は、予定通りキャンプファイヤーを行いました。屋外のステージに、大きな歌声と笑い声が響きました。

3日目は朝から雨に見舞われ、行き先をマザー牧場から鴨川シーワールドに急きょ変更しました。一時は前も見えないくらいの豪雨にびっくりしました。そんな中でもシャチやアシカのショーを楽しみ、シロイルカの特長について学んだことは、いい思い出となったと思います。

充実した見学や体験学習はもちろんです、子ども達の学びは、宿舎での共同生活の中にもあふれていました。これまで苦手だった食べ物にも挑戦し、ゲームもテレビもない状況で友達と語り、遊び、しおりと時計を見ながら自分自身で判断して行動する…そのひとつひとつが大切な経験、大切な学習となったと思います。これをもとに自信を高め、中島根小学校での生活をよりよいものにしていけるよう、指導・支援にあたっていきたく思います。



5年生のさらなる活躍が楽しみです。